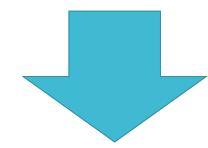
情報セキュリティの 基礎

情報セキュリ ティとは

- コンピュータやインターネットを安全に使うための対策のこと。
- 一般的には、
- ・情報にアクセスできる人の制限(機密性)
- ・情報の欠損の防止(完全性)
- ・情報が必要な時に問題なく使える状況(可用性) を確保することと定義されている。

第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの 被害を及ぼすように作られたプログラムのこと。

ウイルスとは



次の機能を一つ以上 有する

自己伝染機能



潜伏機能



発病機能



狭義の ウイルス マクロウイルス

ウイルスの 種類

スクリプトウイルス

ブーストラップ ウイルス

ウイルス対策

- ワクチン(アンチウイルス・ソフト)
 ウイルスの検査、予防または修復のいずれかの機能を含むソフトウェア。最新の状況にアップデートしておく必要がある。
 例)ウイルスバスター、ノートンアンチウイルス等
- 日常の注意添付ファイルの開封やダウンロードをする時にワクチンでチェックするなどの細心の注意が必要。

怪しいとかんじたものには触らない!!

不正アクセス

不正アクセスとは

ネットワークを通して

- 許可されていないものがなりすましをしてアクセスすること
- 許可されている者が許可されていないアクセスをすること
- そのようなアクセスができるような状況にすることを不正アクセスと定義している

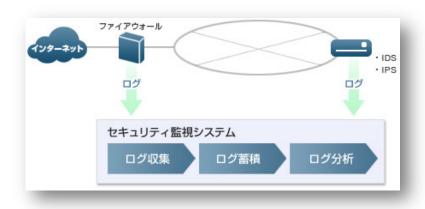
また、不正アクセスをした者はもちろん、「不正アクセスを助長す る行為」も犯罪となり、不正アクセス禁止法によって罰せされる。

対策

全体的対策

・ファイアウォール

• セキュリティ監視

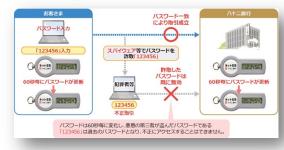


不正アクセス の対策

不正アクセス の対策

部分的な対策

・ワンタイムパスワード



・コールバック



パスワード

不適切な例

- ・氏名や生年月日などの個人情報
- 辞書にある単語
- ・短い文字列

良い例

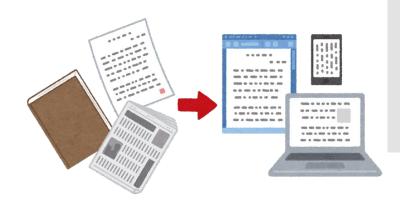
- ・表面的には無意味な文字列
- ・適当な長さ(8文字以上)
- ・数字、英字、特殊記号を混在させる

電子署名法

電子署名法とは

「電子署名」の定義や推定効、認証業務などについて定める法律のこと。

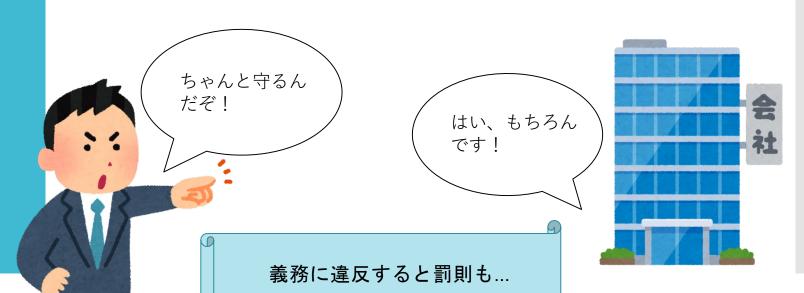
電子署名や電子契約に関するルールを定め、電子商取引の信頼性を高めるとともにその普及を促し、社会経済活動の一層の推進を目指している。



個人情報 保護法

個人情報保護法とは

「個人情報の有用性に配慮しながら、個人ひとりひとりの権利や利益を保護するため」の法律のこと。 主に個人情報を取り扱う民間企業が守らなければならない義務を定めている。



個人情報漏えいの事例

過去には...

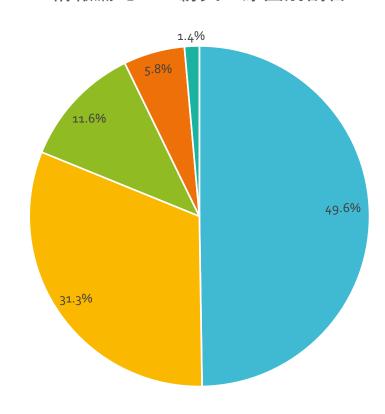
2002/5/26 東京ビューティーセンター 約3万人分の個人情報が漏えい。原因はインターネットに流出し たこと。

2005/2/14 NTTドコモ 利用者分約2,500万件の個人情報が漏えい。内部流出の可能性。

2013/5/17
Yahoo! JAPAN
最大2, 200万件の個人情報が漏えい。原因は不正アクセス。

個人情報漏えいの原因

情報漏えい・紛失 原因別割合



■ウイルス感染・不正アクセス ■誤送信・誤表示 ■紛失・誤廃棄 ■盗難 ■不明・その他

まとめ

- 個人情報はとても大切なものだから悪用されないようにしっかり管理・保管が大切
- 常日頃からウイルスに対する警戒心を持っておく
- ・対策は忘れずに

参考文献 参考資料

- ・情報セキュリティとは/これだけは押さえたい基礎知識・決定版 https://techacademy.jp/magazine/30906
- 個人情報保護法とは/対象・罰則などを弁護士がわかりやすく解説
 https://www.komon-lawyer.jp/support/compliance/personal1/
- ・電子署名法とは?押さえておくべき条文と政府見解について https://www.gmosign.com/media/electronic-contract/post-0212/
- 個人情報漏洩事件 被害事例一覧

https://cybersecurity-jp.com/leakage-of-personal-information

・個人情報漏洩、10年間で日本の人口とほぼ同じ人数分が上場企業から流出・紛失

https://webtan.impress.co.jp/n/2022/03/22/42500